

## 第8回(令和2年度第2回)東京女子医科大学病院医療安全監査 議事要録

### 1. 実施時期

2021(令和3)年2月4日(木) 15:30~16:30

### 2. 出席監査委員:(敬称略)

- 委員長 遠山 信幸(自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長)  
[医療に係る安全管理に関する識見を有する者]
- 委員 秋山 一弘(秋法律事務所 弁護士)  
[法律に関する識見を有する者]
- 委員 浜田 健一郎(元NHK経営委員長、一般社団法人北前船交流拡大機構 理事長)  
[医療を受ける者その他の医療従事者以外の者]
- 委員 本庄 八郎(株式会社伊藤園 代表取締役会長)  
[医療を受ける者その他の医療従事者以外の者]
- 委員 中村 芳夫(内閣官房参与・日本経済団体連合会顧問)  
[医療を受ける者その他の医療従事者以外の者]

### 3. 監査内容:

- (1) 前回監査における指摘事項に関する改善点や変更点等について
  - 1) インシデント報告について
  - 2) 個別面談について
  - 3) インフォームドコンセントについて
- (2) その他の事項
  - 1) 2020年4月より施行させた医療放射線安全管理体制について
  - 2) 高難度新規医療や医療機器や医薬品の適応外使用について
- (3) 前回以降に取り組みされた課題、その他(病院でのアピール点、取り組みなど)
  - 1) セーフティマネジャー委員会
  - 2) 看護部における「医療安全推進会議」の活動
  - 3) 医療安全管理情報
  - 4) 転倒転落プロジェクトチームの活動
  - 5) チーム医療推進部会とIPSG推進部会の活動
  - 6) その他

### 4. 監査委員による講評

- (1) インシデント・アクシデント報告については、初期研修医からの報告件数が増加しており改善がみられるが、一層の継続的な努力を望む。
- (2) 院内の諸部門に対して、個別面談が引き続き開催されており高く評価できる。電子カルテIC記録登録率は診療科間でかなりの温度差があり、今後の改善の余地がある。患者プロフィールへのアレルギー入力状況や画像診断報告書の未読率については、面談の効果を注視されたい。
- (3) 「説明書」「同意書」は多職種による相互チェックが行われ、専門家による相談体制を構築しているが、「病名、進行度」「死亡の確率」等、今後も継続的な患者目線での修正が必要と考える。

- (4) 安全文化の醸成に向けて格段の改善が見られ、きめ細やかな活動をしている。一過性ではなく、一方向に向かって継続的に職員全体で行っていただく姿勢で臨まれない。  
なお、さらなる安全文化の醸成のためには職員一人一人の意識改革が重要であるため、執行部(トップダウン)での医療安全指導が多いように思われるが、現場(ボトムアップ)からの声が反映されるよう努めて頂きたい。
- (5) コロナ禍における医療提供に敬意を表す。今後の長期的な視点に立ち、経営にも不断の改善を期待する。

—以上—